



## 2020年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月14日

上場会社名 株式会社鉄人化計画 上場取引所 東  
 コード番号 2404 URL http://www.tetsujin.ne.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡崎 太輔  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 荻野 裕 (TEL) 03-3793-5117  
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年8月期第1四半期の連結業績(2019年9月1日~2019年11月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第1四半期	1,554	△3.9	△212	—	△222	—	△251	—
2019年8月期第1四半期	1,617	△0.9	△74	—	△82	—	△66	—

(注) 包括利益 2020年8月期第1四半期 △253百万円(—%) 2019年8月期第1四半期 △67百万円(—%)  
 2019年8月期第1四半期の数値は、当期からの表示方法の変更の内容を反映させております。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第1四半期	△32.47	—
2019年8月期第1四半期	△8.53	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第1四半期	5,062	301	5.8
2019年8月期	5,471	553	10.0

(参考) 自己資本 2020年8月期第1四半期 294百万円 2019年8月期 547百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年8月期	—	—	—	—	—
2020年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年8月期の連結業績予想(2019年9月1日~2020年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	8,042	12.2	214	5.7	180	12.2	168	0.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年8月期1Q	8,232,200株	2019年8月期	8,232,200株
② 期末自己株式数	2020年8月期1Q	476,600株	2019年8月期	476,600株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年8月期1Q	7,755,600株	2019年8月期1Q	7,755,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(連結の範囲の重要な変更)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益、雇用・所得環境の穏やかな回復が続くものの、国内での消費増税に加えて世界経済の不確実性の影響など、依然として先行き不安定な状況で推移しました。一方、カラオケ業界におきましては、需要は底堅く存在するもの大手チェーンオペレーターを中心とした首都圏の出店競争が激化を続けております。こうした環境下において、余暇市場にとどまることなく、ライフスタイル全般の変化に伴う新たな消費動向に対応する成長戦略が求められております。

このような状況の中、当社グループは、経営新体制2年間の改革を通して安定的に業績の確保が出来る経営体質を実現してまいりました。3年目の取り組みとして、カラオケ・飲食事業におけるサービスと仕組みの差別化を進め、新たな事業・業態の開発により中期的な事業基盤を構築し、社内整備として全社業務改革・生産性の向上に取り組んでまいります。

当第1四半期連結累計期間において、「ソーシャルカラオケ®」をコンセプトとするアプリベースの新サービスのリリースに向けた開発を進めております。当社は内製のシステム開発力を生かし、ITによって店舗事業に新たな価値を付加することで独自のポジショニングを確立する成長戦略を“Shop×Tech”として事業開発の核となる理念に据えております。「ソーシャルカラオケ®」は、POS・会員管理・カラオケ配信を統合する自社開発システムの機能を拡張するとともにUI（ユーザーインターフェース）を刷新し、顧客への新たな価値創出と店舗運営の効率化の両立を目指しております。出店実績としては、2019年11月に「赤から 蒲田店」を「カラオケの鉄人 蒲田店」のフロア内にオープンし、飲食とカラオケの複合業態の2店舗目となりました。2019年11月開催の株主総会では、財務体質の健全化・早期復配や自己株取得等の株主還元策のための減資、健全な事業成長のためのガバナンス強化、社員の貢献意欲や人材の定着率向上・株主様を重視した経営の一層推進のためのストック・オプション付与、などの決議を行いました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,554百万円（前年同四半期比3.9%減）、経常損失222百万円（前年同四半期経常損失82百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失251百万円（前年同四半期親会社株主に帰属する四半期純損失66百万円）となりました。セグメントの業績は次のとおりです。

#### (カラオケ・飲食事業)

当第1四半期連結累計期間におけるカラオケ・飲食事業の売上高は1,509百万円（前年同四半期比2.0%減）、セグメント利益は0百万円（前年同四半期比99.1%減）となりました。競合各社の都心部繁華街立地への集中出店による業績影響は計画時に見込んでおりましたが、2019年10月台風による週末55店舗の臨時休業などもあり、比較可能な既存店※の売上高の前年同四半期比は92.0%となりました。一方、店舗運営はアルバイトスタッフの正社員登用、店舗リニューアルなど店舗投資を計画的・継続的に実施してまいりました。

※ 比較可能な既存店とは、営業開始後12ヶ月を経過して営業を営んでいる店舗で前年対比が可能なものをいいます。

#### (メディア・コンテンツ企画事業)

当第1四半期連結累計期間におけるメディア・コンテンツ企画事業の売上高は34百万円（前年同四半期比8.5%減）、セグメント利益は26百万円（前年同四半期比5.3%減）となりました。「カラオケの鉄人モバイル」サイトを中心に運営を行っておりますが、フィーチャーフォンからスマートフォンへの乗換えが進み減収・減益となっております。

#### (その他)

当第1四半期連結累計期間におけるその他の売上高は10百万円（前年同四半期比72.8%減）、セグメント損失は1百万円（前年同四半期セグメント損失4百万円）となりました。不動産賃貸業は計画通りの業績で進捗いたしましたが、当社100%連結子会社であるTETSUJIN USA Inc. が米国グアム準州タモン地区で運営するエンターテインメントレストラン1店舗は2018年10月に営業閉鎖をしており、減収となっております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比較して408百万円減少し、5,062百万円となりました。流動資産は1,404百万円となり478百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が529百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は3,658百万円となり70百万円増加いたしました。主な要因は、建物及び構築物をは

じめとした有形固定資産が93百万円増加及び投資その他の資産が23百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末に比較して157百万円減少し、4,761百万円となりました。流動負債は1,368百万円となり68百万円減少いたしました。主な要因は、未払費用が62百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は3,392百万円となり88百万円減少いたしました。主な要因は、長期借入金が98百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末に比較して251百万円減少し、301百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が251百万円減少したこと等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年10月11日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。当社グループの業績は、その事業規模からカラオケ・飲食事業に大きく依存しております。当事業は、忘年会等が多く行われる12月を含む第2四半期連結会計期間と、歓送迎会等が多く行われる3月、4月を含む第3四半期連結会計期間に売上が偏重する傾向があるため、各四半期連結会計期間の業績が必ずしも通期の業績に連動するとは限りません。また、システム投資・店舗リニューアル投資など経営環境の変化や業績の進捗度に応じて計画外投資を実施することがあります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,321,138	791,348
受取手形及び売掛金	140,514	152,844
商品及び製品	2,645	4,042
原材料及び貯蔵品	45,330	49,332
その他	375,011	407,726
貸倒引当金	△1,297	△926
流動資産合計	1,883,343	1,404,368
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,199,511	1,255,063
工具、器具及び備品(純額)	106,711	123,843
その他(純額)	491,489	512,770
有形固定資産合計	1,797,711	1,891,678
無形固定資産		
のれん	44,019	41,644
その他	31,253	33,293
無形固定資産合計	75,272	74,937
投資その他の資産		
差入保証金	1,623,293	1,609,423
その他	94,770	85,213
貸倒引当金	△2,687	△2,755
投資その他の資産合計	1,715,376	1,691,881
固定資産合計	3,588,360	3,658,497
資産合計	5,471,703	5,062,866

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	124,956	111,745
短期借入金	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	392,800	392,800
未払費用	596,922	534,269
未払法人税等	42,318	5,227
資産除去債務	2,500	2,500
賞与引当金	36,641	18,704
ポイント引当金	19,603	19,576
その他	161,731	223,776
流動負債合計	1,437,473	1,368,600
固定負債		
長期借入金	3,107,200	3,009,000
資産除去債務	206,547	223,569
その他	167,083	160,073
固定負債合計	3,480,830	3,392,643
負債合計	4,918,304	4,761,244
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,021,609	1,021,609
資本剰余金	1,014,767	1,014,767
利益剰余金	△1,325,810	△1,577,627
自己株式	△176,550	△176,550
株主資本合計	534,016	282,199
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	13,705	11,854
その他の包括利益累計額合計	13,705	11,854
新株予約権	5,677	7,568
純資産合計	553,399	301,622
負債純資産合計	5,471,703	5,062,866

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2019年11月30日)
売上高	1,617,495	1,554,796
売上原価	1,421,086	1,461,982
売上総利益	196,408	92,813
販売費及び一般管理費	271,328	305,738
営業損失(△)	△74,919	△212,924
営業外収益		
受取利息	2	2
協賛金収入	1,274	462
為替差益	1,647	1,668
その他	1,842	492
営業外収益合計	4,766	2,626
営業外費用		
支払利息	10,557	10,466
その他	1,380	1,504
営業外費用合計	11,937	11,970
経常損失(△)	△82,090	△222,269
特別利益		
固定資産売却益	28,835	—
特別利益合計	28,835	—
特別損失		
固定資産除却損	478	19,616
減損損失	7,642	4,692
特別損失合計	8,121	24,308
税金等調整前四半期純損失(△)	△61,376	△246,578
法人税等	4,740	5,227
四半期純損失(△)	△66,117	△251,805
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△66,117	△251,805

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2019年11月30日)
四半期純損失(△)	△66,117	△251,805
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,276	△1,850
その他の包括利益合計	△1,276	△1,850
四半期包括利益	△67,394	△253,656
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△67,394	△253,656
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間において、(株)TBH(当社100%子会社)に創業資金の貸付を行いました。これに伴い、財務上の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当社は当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当連結会計年度は課税所得の発生が見込まれないため、当第1四半期連結累計期間については、法人住民税均等割額年間発生見積額の4分の1に相当する金額を税金費用として計上しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	カラオケ・飲 食事業	メディア・ コンテンツ 企画事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,541,422	37,540	1,578,963	38,532	1,617,495	—	1,617,495
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,541,422	37,540	1,578,963	38,532	1,617,495	—	1,617,495
セグメント利益又は損 失(△)	113,744	28,344	142,088	△4,229	137,859	△212,779	△74,919

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「音響設備販売事業」、「不動産賃貸事業」等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△212,779千円には、セグメント間取引消去11千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△212,790千円が含まれております。全社費用は主に親会社本社のグループ管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「カラオケ・飲食事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては7,642千円であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	カラオケ・飲 食事業	メディア・ コンテンツ 企画事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,509,980	34,341	1,544,321	10,474	1,554,796	—	1,554,796
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,509,980	34,341	1,544,321	10,474	1,554,796	—	1,554,796
セグメント利益又は損 失(△)	968	26,851	27,820	△1,846	25,973	△238,898	△212,924

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「音響設備販売事業」、「不動産賃貸事業」等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△238,898千円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△238,898千円が含まれております。全社費用は主に親会社本社のグループ管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事

当第1四半期連結会計期間より、既存事業・既存経営資産とのシナジーを追求するため、新たな事業・業態の開発及び運営のための経営資源配分計画及びその実行に取り組んでいることを反映し、セグメント別経営管理のより一層の充実を図るため、全社費用の一部について、各報告セグメントへの配分方法を変更しております。これらの変更により、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益は、従来の方法に比べて、「カラオケ・飲食事業」で72,835千円、「調整額」で72,835千円増加しております。なお、当第1四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の全社費用の配分方法に基づき作成したものを開示しております。

前第3四半期連結会計期間より、受取設備利用料等については、店舗空間の一層の活用効率化を図る方針により、表示方法を営業外収益から売上高へ変更しております。なお、当第1四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の表示方法により作成しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「カラオケ・飲食事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては4,692千円であります。